

学園だより

新校舎落成式挙行

望 月 海 淑

身延山大学講堂の落慶式は十月一日に行なわれたが、この日のために定められた役配や式典方法に則った準備は九月二十九日に完了した。しかし、当日の祝宴場が校庭のために、天候だけが唯一の気がかりであった。しかもあいにくの秋雨前線が停滞、九月三十日の夜は雨さえ降った。

明けて一日、仏天の加護か青空が見えていた。受付けが開かれたのは八時だったがもう待ちうけている熱心な人もいた。

三階には日本画壇の重鎮、植中直斉先生の「日蓮大聖人御一代絵巻」が展覧されておったが、その大和絵の見事さは人々の脚をとらめ、目を驚かせていた。

定刻十一時、打ち上げられた花火の音につれて、講堂内には宗歌の音楽が流され、その楽の音につれて緞帳は揚げられ、祭壇の扉も開かれた。その荘厳な雰囲気でも、おもわずも場内からは割れるような拍手が湧きあがった。

法主さまの御発声による法味言上。

脇導師は望月日雄学園理事長と松木本興学園の二人。舞台の両側には高階璣仙曹洞宗管長・永田雅一信徒総代・各教団代表・各地区本願人会代表の皆さんが着席されていた。そして、参会者千二百人によって行なわれた読経の大合唱は、晴れの日の講堂にふさわしく見事にして、人々を感激の渦の中へまき込んで行った。

十一時半、静かな四弘誓願の音楽によって緞帳は降ろされ、第一部の式典は終了した。

第二部は、望月理事長によって別掲のような建築の経過報告が行なわれ、建築に当られた設計者の竹腰健造博士・請負者の佐伯豊社長・工事者の川崎喜一社長・実際の工事担当監督の山崎徳男氏らに感謝状が贈呈されて、祝辞の拝受が行なわれ、前の総理大臣石橋湛山氏等から寄せられた膨大な数の祝電が披露された。

この第二部の閉幕は、学園生徒諸君等による校歌発表だった。この歌は昨年、全国に発表して広く募集されたものを、斯界の第一人者の北川冬彦先生が、直接に身延山を参拝し選をなし、当選者岡本淳三氏の作詩に加筆して下さり戸根一郎先生が作曲して下さったもので、この日、はじめて公開されたものであった。若い力としてこれからのびて

行く学校の姿が想像されるようでもあった。その興奮を保存するかのよう、豪壮な緞帳は静かに降りて行つた。

校庭での祝賀の宴は引きつゞいて行なわれた。千人を超える人々を一堂に集める場処は他にはないので苦肉の策でもある。

甲府から呼ばれた模擬店が並び、急造のテーブルの上には料理や飲物が用意されており、それ／＼思い／＼に手にとり話題の花を咲かせて行つた。久し振りに再会した人、初対面の人、すべてが旧知の如くになつかしい顔であり、旧友でもあるみたいだった。これもたゞ一つの目的、落慶のよろこびにひたりうる同信の友の故であらう。

身延山大学同窓会有志大会

九月三十日、晴れの落慶式を明日にひかえた学園新校舎では、同窓会の有志大会が開かれた。参会者七十名はほとんど日本各地から集まった人々で、いわば落慶式の一環としての形のようにだった。

望月総務の大導師によって、午後一時から仏殿納牌堂にて、亡き恩師・先輩・友人等の霊に香華をたむけて、校舎二階の合併教室で会合を開いた。

林是幹教授の司会で開会。挨拶に立った望月理事長は「間もなく迎える開闢七百年の記念事業として老朽化した校舎を建て直したい、と念願したところ、皆さん方の御協力によって落成の運びとなりました。考えてみますと、三〇年前に日謙上人が信行道場を創られ、そのお弟子の法主さまが学校を建て直されました。これで行学二道の両輪が揃ったことになります。これからはお祖師さまの我も致し人をも教化候への御意志にそった人材を創るよう励むつもりでおります。どうかより一層の御協力を」と述べて、盛大な拍手をあげた。

そして、議長に山岡義哲師、副議長に灘上恵教師と小崎竜雄師とを選出して議事に入った。議論の焦点は専ら大学の今後の発展について。これからの宗門にとって必要なものは人材、その人材を本学園から生み出すための強力な方策はどうすべきか、熱意あふる議論が展開されていた。

終つて、薄闇がたちこみはじめた頃、一階の会議室で懇親会を開き、久闊をのべ、古く良き時代に思いをかえし、明日の宗門の前進あることを胸に描き出して夜の更けるのも知らぬげであった。そのための人材を養成するべく、島崎師はこういった。

「立派な人材をつくるためには、立派な施設も肝要であ

ります。幸に立派な校舎と講堂が出来ました。しかし、まだ本学には体育館がありません。独立した図書館がありません。これら不足しているものをも完備することは、日連門下としての我々の務めでしょう。どうしてもこれを創ろうではありませんか。」

図書館だより

猪 俣 日 康

○甲斐、駿河の連峰を一望に収める眺望絶佳な閑静の地に南面する、白亜の新校舎四階に近代的な設備をもった、明るく、しかも読書、勉強にびったりの静かなムードをもち、もっとも利用しやすく工夫をこらし、学生の情操を豊かにし、図書文献に親しめる好適なる、図書館として再発足した。

○蔵書冊数、約二万三千、和本としては、有名なる身延山文庫を蔵し、宗乗、余乗、哲学、文学、社会、文化に至るまで取り揃え、なお、一行文庫、如宝文庫、鉄石文庫、および塩田博士文庫を蔵書として、学生の向学研究心を満たすための配慮に万全である。

○新校舎落成記念として、学長藤井日静親下より、図書の充実は、学問研究にとっては必要かくべからざる条件であるという見地から、図書寄附金二百万円をいただいた。

エラスムスの文句に

ライブラリ（図書文庫）ということ形容して、極楽・パラダイスであると説明している。

我々の悲しいとき、嬉しいときに、どういう場合でも、図書館にもぐれば、何んとなく心の満ちくるものがあり、我々の希望するものが次ぎつぎと満ちてくるものである。という

エラスムスの形容せる「パラダイス」を引用して、学長親下の図書にたいする憧憬と、ご理解に敬意を表する次第である。

◇学長親下寄贈図書紹介

日連聖人御遺文講義	一八
日連聖人御遺文大講座	一二
日連宗宗学全書	二二
仏教辞典	二
日本仏教史	五
白隠和尚全集	一〇
仏教文学研究	五

西域文化研究	六	群書解題	三〇
近代仏教	六	辞典関係その他	四五
望月仏教大辞典	一〇		
仏典	二	現代思想	一二
仏教関係その他	一四四	世界教養全集	三八
		現代世界ノンフィクション全集	一二
		現代宗教講座	六
		青年心理学講座	五
		心理学入門講座	八
		世界の思想	二四
		日本文学の歴史	一二
		東洋人の思维方法	四
		世界文学大系	八三
		日本の歴史	二六
		中国文化叢書	一二
		人生の本	一〇
		日本人の精神史	六
		大世界史	二六
		思想学説全書	一三
		教育学全書	一五
		宮沢賢治全集	一一
世界大百科辞典（英国版）	二四		
コンプトン（英国版）	四		
世界地図書（イタリー版）	二		
フリース（英国版）	四		
世界地理風俗大系	二五		
新訳漢文大系	二三		
原色動物大図鑑	五		
東洋学報	三二		
世界名著大辞典	三		
世界思想教養辞典	二		
現色植物大図鑑	五		
書道六体大字典	一		
現色百科辞典	一二		
英文法シリーズ	三		
古事類苑	五一		

甲斐国志

日本歴史新書

東洋思想講座

現代英米倫理學

現代人の思想

岩波文庫 全

角川文庫 全

人物叢書

日本歴史叢書

その他

五

一〇〇

一〇

五

二二

九五二

二二一

一四四

一五

九三

(四二、十一、十五現在)

学 会 彙 報

【昭和四十一年度】

○日本仏教学会

昭和四十一年度の日本仏教学会学術大会は、十月二十二日二十三日の両日、立正大学を会場校として開催された。今回の研究共通テーマは「仏教に於ける戒の問題」であつて、本学からは次の通り研究発表を行った。

一、戒とその基盤

高 橋 堯 昭

○第十九回日蓮宗教学研究発表大会

十月二十八・二十九日の両日にわたって、新築成った日蓮宗宗務院を会場に、第十九回教学大会が開催された。特別発表は「日蓮教学に於ける成仏論」で、本学からの研究発表者は、次の通りであつた。

一、法華経の成仏論(時間と成仏) 里 見 泰 穂

一、近代小説に現れた日蓮聖人 上 田 本 昌

一、正見を立つ 室 住 一 妙

【昭和四十二年度】

○日本仏教学会

昭和四十二年度の日本仏教学会学術大会は、叡山学院が当番校となり、比叡山に於て開催された。今回の研究共通テーマは、「仏教に於ける人間観」であり、本学からは次の通り研究発表がおこなわれた。

一、日蓮聖人の人間観 長谷川 義 浩

○第二十回日蓮宗教学研究発表大会

日蓮宗教学研究発表大会は、新装成った本学に於て、十一月二十五日二十六日の両日にわたり举行された。本年度の共同研究テーマは、「日蓮聖人の人間像」で、四名の特別発表があつた。尚、本学からの研究発表者は、次の通りであつた。

- 一、大乘仏教の社会的基礎 高橋堯昭
 二、身延山に於ける日蓮聖人の人間的一面 上田本昌
 三、俱に在る素描 室住一妙

執筆者紹介

- 上田本昌 本学助教授 (日蓮教学)
 町田是正 本学助教授 (歴史学)
 高橋堯昭 本学助教授 (哲学)
 筒井妙清 身延山短期大学々会会員
 秋山智孝 本学教授 (宗教学)
 高橋堯慧 本学講師 (社会学)
 室住一妙 本学教授 (日蓮教学)
 大森孝 本学助教授 (英語学)

図書紹介

文学博士 塩田義遜 著

法華教学史の研究

A5版特製 価二、五〇〇円(千二二〇円)

身延山大学布教研究室編

日蓮宗法要式提要

携帯至便上製 価二〇〇円(千五〇円)

身延山大学教授 室住一妙 著

開目抄に聞く

B6版上製 価六〇〇円(千九〇円)

身延山大学教授 室住一妙 著

日蓮聖人と俱に

B6版上製 価六〇〇円(千九〇円)

中込所 身延山大学出版部

振替(甲府) 一、五九六番